就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績 I ~Ⅳ、Ⅵ)

			(I)労働問	間					
前年度(令和5年度)									
雇用契約を締結していた全 の利用者における延べ労働 間		時間	雇用契約を締結していた 延べ利用者数	185	Д	利用者の1日の 平均労働時間数	4	時間	
			(Ⅱ)生産活	動					
会計期間 (月~	月)								
前々々年度(令和3年) 生産活動収入から経 費を除いた額	雙) 15, 455, 335	円	利用者に支払った賃金総額	21, 125, 547	円	収支	▲5670212	円	
前々年度(令和4年度)	1	_			<u> </u>				
生産活動収入から経費を除いた額	18, 327, 179	円	利用者に支払った賃金総額	16, 772, 157	PH PH	収支	1, 555, 022	Ħ	
前年度 (令和5年度)		<u> </u>			<u> </u>				
生産活動収入から経 費を除いた額	16, 735, 506	円	利用者に支払った賃 金総額	16, 735, 506	Ħ	収支	0	円	
			(Ⅲ)多様な値						
①免許・資格取得、検定の受検勧奨 □ 免許・資格取得、検定の受検勧奨 □ に関する制度を定めている ②フレックスタイム制に係る労働条件 ②フレックスタイム制に係る労働条件を 定めている □ ②有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ②有給休暇の時間単位取得または、計画的 付与制度を定めている □			②利用者を職員として登用する制度 ◎利用者を職員として登用する制度を 定めている ⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に係る労働条件を 定めている ⑥傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等の取得に関する事項を 定めている			③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 に関する制度を定めている ⑤時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度に係る労働条件を 定めている			
			(Ⅳ) 支援力	向上					
①研修計画に基づいたを ②研修計画を策定して ②外部研修、もしくは 1回以上実施している	内部研修を	②研輸 ◎研輸 1 [※研修 実施	多、学会等又は学会誌 多、学会等又は学会誌 可以上発表している 、学会等名 日 月	等において発表	○先進もしく※先進実施	は、他の事業所の 的事業者名 日/参加者数	実習の実施している 視察・実習を受け入れ 株式会社E 令和5年4月18日	✓ ている 5人	
※研修名 令和5年度こうめ虐待防止社内研修 研修講師 実施日・受講者数 令和5年9月29日 4 人			※学会誌等名 掲載日 月 発表テーマ			*他の事業所名 他B型事業所 実施日/参加者数 令和5年6月18日 4人			

④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアサポーターの配置
◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上	◎職員の人事評価制度を整備している □	◎ピアサポーターを配置している
参加している。 🗵	◎当該人事評価制度を周知している ☑	◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート
※商談会等名	人事評価制度の制定日 令和6年2月29日	研修」を受講している □
主催者名 稲村	人事評価制度の対象職員数 4名	※配置期間 月 日~ 月 日
日時 令和5年4月25日	うち昇給・昇格を行った者 4名	就業時間
内容 新規商品の取り扱いについて	当該人事評価制度の周知方法	職務内容
	職員会議で口頭で周知	
②第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
◎前年度末日から過去3年以内に ☑	◎ I S O が制定したマネジメント □	
福祉サービス第三者評価を受けている	規格等の認証等を受けている	
※評価を受けた日 令和4年1月20日 第三者評価機関 一般社団法人特養ホームマネジメント研究所	※認証を受けた日 月 日 規格等の内容	
	(VI) 経営改善計画	
◎指定権者である都道府県(指定都市・中核市) 経営改善計画書へ提出した。 経営改善計画の提出を求められていない。		

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。